

農林水産省 食料産業局長賞

八人八色組合(新潟県南魚沼市(みなみうおぬまし)) ～女性農業者自らの努力と創意工夫による直売活動～

組織概要

○代表者 組合長 南雲 利文
○構成員 生産者86名他

○所在地 新潟県南魚沼市
○活動開始年 平成13年



受賞のポイント

- ジェラートや手作りの加工品など女性農業者が自らの努力・創意工夫を凝らした商品開発に取り組むことで、販売量が増加するとともに、組合員が増加し、女性農業者の所得向上、地域農業の振興につながっている。
- 気象条件の厳しい地域において、冬場の品揃えを充実させるため、手づくり加工品の製造に取り組んだり、農産物の雪中貯蔵や乾燥野菜の生産に新たに取り組む、組合員の生産意欲の向上につなげている。

取組内容

■取組みの経緯・成長の契機

- ・平成13年に、ワインレストラン「葡萄の花」が開店するに伴い、県内外のお客さんに自分たちの朝採れ野菜を味わって欲しい、直接販売してもっと手取りをアップさせたいとの思いから、地元浦佐地区の女性農業者15名で「八人八色組合」を発足し直売所を開設。
- ・女性農業者が直売施設という活躍の場を持て、自らの努力・創意工夫を行った販売により、売上げの向上という結果が出たことで、各組合員の意欲が向上。
- ・平成17年から、学校給食への地元農産物の利用促進を図るため、地元学校給食センターへの食材供給を開始。

■取組みの特徴・活動の強み

- ・直売所を介した生産者同士や消費者との交流を通して、品揃えの充実やジェラートや手作りの漬物、味噌等の加工品の開発など、自らの努力・創意工夫を生かした販売を実施。
- ・冬場の品揃えの充実のため、消費者ニーズの把握やJA等が行う栽培・加工研修会へ参加し、情報収集・技術研鑽に努め、農産物の雪中貯蔵や乾燥野菜の生産など新たな取り組みを実施。
- ・組合の取組が地域に浸透していくことで、地域の学校給食センターや地元の旅館、外食産業等へ販路が拡大。
- ・小学校での交流給食会や学校菜園での栽培指導等を通じて、小学生の食への関心が高まっている。
- ・GAPやエコファーマー認定支援研修会への参加、農薬・肥料等の使用状況の管理徹底など、安心・安全な農産物の生産販売に向けた取組も積極的に実施。

■地域への貢献・波及効果

- ・安心・安全な農産物や工夫を凝らした加工品を販売することにより、来客者数、販売量が増加し、組合員が86人に増加するなど、女性農業者の所得向上に貢献している。
- ・「八人八色」が中心となった直売活動が広がり、地域の生産者が米以外の多様な園芸作物を栽培し始め、アスパラガスやねぎなど地域の園芸重点推進12品目の栽培が増加した。